

「佐賀の若者応援・次世紀プロジェクト」

公益財団法人佐賀育英会（碓正義理事長）は、今年6月に創立100周年を迎えたことを契機に、次の100年に向けて「佐賀の若者応援・次世紀プロジェクト～佐賀の若者の「志」を支え「活躍」を援ける～」を実施することにしました。次世紀に向け、ジェンダーレス、ボーダーレスを掲げ、時代を担う若者育成のため、新たな課題に取り組んで参ります。プロジェクトは、次の4本柱で実施します。

■プロジェクト1 松濤学舎の男女共同型、ジェンダーレス化への転換

当財団が運営する松濤学舎（東京都小金井市）では、これまで首都圏で学ぶ男子大学生の受け入れを行ってきましたが、現在の男女共同参画社会への変化、ジェンダーレス化の動きに鑑み、女子学生を受け入れることとしました。22年（令和4年）度に改修工事を行い、23年（同5年）1月から入寮受け入れを開始します。

■プロジェクト2 海外留学生支援の奨学制度の創設

ボーダーレス化の進展という時代背景に反し、若者の海外留学者数は減少しているという状況を少しでも改善できればと、海外への留学、研修を計画する学生に対し、その費用の一部に充ててもらうため、海外留学生支援の奨学制度を創設することとしました。奨学金の対象は、松濤学舎在舎生とともに、佐賀県在住の学生を対象とすることを考えております。

■プロジェクト3 未来の若者「夢」応援事業の実施

松濤学舎卒業生や佐賀出身OBによる就職相談会を開催します。就職活動を控えた東京、佐賀在住の大学生を対象に業界・企業情報の提供や就職活動指導を行います。また、松濤学舎生による佐賀の高校生へのプレゼンテーション事業を実施します。東京に進学した松濤学舎生の感じた東京での学生生活の経験、東京のリアルな実態を佐賀にいる高校生及び保護者に伝えることにより、東京進学の心理的な“壁”をなくします。

■プロジェクト4 温故知新、100周年記念事業の実施

新世紀を見据えた新たな発展を目指す時には過去の歴史を再検証することによって新たな発展のヒントを見つけていく、まさに“温故知新”の活動も大事なことと考えます。創立100周年記念式典、記念講演等を佐賀と東京において開催します。佐賀育英会百年史を刊行し、関係各所に贈呈します。

※「ふるさと納税」、「企業版ふるさと納税」対象事業 今プロジェクトに関しましては、次世代を担う若者の支援のための寄付事業として、佐賀県より「ふるさと納税」「企業版ふるさと納税」の対象と認めていただきました。21年9月1日より23年3月31日まで、目標額を1億円として寄付活動を開始しております。

◆お問い合わせ◆ 〒184-0013 東京都小金井市前原町 3-3-28
公益財団法人佐賀育英会 Tel.042-381-3676
アドレス：nabeshima2021@iaa.itkeeper.ne.jp
U R L：http://www.shoutougakusya.com